

## 1. 活動報告（事務局 記）

- 11月26日（日）会員8名で、置かされていた草の処分と湿地帯のエコアップを行いました。
  
- 12月15日（金）原田会長・辻野会員・市民センター長により、永山酒造にてモチ米を洗米しました。
  
- 12月16日（土）天気は時々小雨でしたが、会員17名と市民センター長と西村北部支援員で餅つきの準備として、テント張りとテーブルの設置、会議室にテーブル設置・紙張り、餅つき機・バーナー・蒸し器などの確認、餅つき用台唐や農機具の設置をしました。
  
- 12月17日（日）天気は時々雪が降る中、収穫祭の餅つきを行いました。挨拶の後、市長により台唐での餅つきを披露してもらい、親子で餅つき機の餅を丸めてもらいました。会議室で、餅を乾かしてパック詰めにし、参加者に配布しました。参加者は、親子自然観察隊（親23名、子26名、幼児6名）、二俣瀬子ども会（親11名、子11名）、市長・秘書、市民センター長、西村北部支援員、小学校長、会員33名、会員家族2名の117名でした。
  
- 12月24日（日）年末懇親会は10時より始め、猪肉の焼肉を主体に日本酒・ビール・ノンアルの飲料で行いました。和気あいあいと話合い、13時頃に解散しました。参加者は会員21名と田村元副会長でした。

## 2. 今後の予定（事務局 記） ◎行 事

- 1月7日（日）正月休み
- 1月21（日）維持活動（エコアップ）

## 3. 来訪者の声

今回はありません。

## 4. 会員の声 「 」 （記）

今回はありません。

## 5. 親子自然観察隊 「 収穫祭、解隊式 」 （菅 哲郎 記）

親子自然観察隊今年最後のイベント、稲作体験収穫祭（餅つき）と解隊式を行いました。出席者はビオトープ会員、親子自然観察隊の隊員親子、二俣瀬子供会の親子、市役所関係者、支援員、学校関係者など合わせ、120名ほどになったようで盛況でした。

前日の準備作業では曇り空で一時雨に打たれ、お天気が心配でしたが、今日のお天気は上々でした。しかし昨日より気温がぐんと下がり、小雪の舞う例年通りの寒い朝を迎えました。朝の気温1℃と冷たい風に吹かれ、火の気のない受付は寒い思いをしながらの受付業務でした。そのうちようやく容器で焚火をいただき助かったのですが、それは会員の方がご自宅より薪を提供してくれ、3か所ほどで焚火ができ、本当に助かりました、この場を借りてお礼申し上げます。

宇部市より篠崎宇部市長がお見えになり、ビオトープ最後のイベントとなりましたので、わざわざ駆けつけていただいたようです。おかげで、お餅1臼早めにつくことになり、いつもより30分早く集合しお餅つきを始めることになりました。

原田会長の開会挨拶、篠崎宇部市長による挨拶をいただいたのち、「ダイガラ」による餅つき器で宇部市長につき初めをお願いしました、その前に今井相談役による“安全祈願祭”を執り行っていたいただき、それを終え、本格的なお餅つきになりました。なお、そのあと市長の好意により、観察隊と子供会の子供たち全員が市長を囲んでの記念撮影に応じてくれました。

寒い中、みんな生き生きと楽しくお餅を丸めていましたが、宇部市長もその輪の中に入り、一緒にお餅を丸めていただきました。気さくな市長の一面がうかがわれ、ありがたく思いました。

11:30には餅つきも終了し観察隊と子供会の参加親子全員が、つき餅1パックをいただきました。そのあと宇部市による「環境クイズ」、親子自然観察隊による「クジ引き大会」などを行って最後まで盛り上がりました。最後に原田会長、管隊長より閉会式、解隊式が宣言され、無事イベントを終了しました。

朝の間は寒かったのですが、終了時には随分と温かくなったようで、トラブルなく無事収穫祭、解隊式を終えることができました。宇部市長もお迎えできましたし、粗相なくお送り出来たようで、よい締めくくりができたと思います。二日前より準備してくれた会員の皆さん、ご苦労様でした。



篠崎宇部市長の挨拶



今井相談役による安全祈願後に台唐で餅つき



宇部市長を囲んでの記念撮影



親子によるお餅丸め作業



お餅つきの見学



おやつ「黄な粉餅」と「スモチ」



解隊式で環境クイズ

## 親子自然観察隊の感想

### ★王丸まどか

田植えから収穫まで頑張った餅米はいつもよりもとても美味しく感じました。お餅はあたたかくてよくのびてまるめるのが楽しかったです。また体験したいなと思いました。じゅんぴをしてくださった方、ほんとうにありがとうございました。

### ★秋田理莉

寒かったけど、餅を丸めるのが楽しかったし、きなこ餅が美味しかったのでよかったです。

### ★秋田（母）

雪が降る中、つきたての餅を「あちっ」と言いながら丸めたり、たき火にあたったり…温かいことのありがたみを感じることができました。最後に皆さんで餅を食べることができてすごく美味しかったです。たくさんの方々が朝早くから準備してくださったおかげで素晴らしい体験ができました。また、親子観察隊として約4年間ほどお世話になりました。ビオトープの春夏秋冬を感じることができたこの経験は、きっと子どもたちの宝になることと思います。今までご尽力いただいた皆様、本当にお世話になりました。今回で活動終了になるのは残念ですが、また近くに来た際にはビオトープに寄らせていただこうと思います。これまで本当にありがとうございました。

### ★篠田（母）

冬らしい寒さの中、合間に焚き火にも当たりながらの餅つきは、風情もあり良かったです。子供たちもとても楽しそうにせっせとお餅を丸めていました。篠崎市長が餅を丸めるのがお上手でコツを教えて頂いたので、私達もきれいなお餅に成形出来るようになり、とても楽しく丸める作業をしました。その後、田植えや稲刈りなどに思いを馳せながら、つきたてのお餅を皆で頂きました。それはそれは美味しく、大変幸せな気持ちでした。沢山の餅のお土産、家でも美味しく頂いています。子供たちにはくじのお楽しみまであって、皆、喜んでしゃいでいました。これをつくる会と自然観察隊の活動が最後だと思うと寂しい気持ちですが、皆さんには長い間大変お疲れ様でした。つくる会の皆様のご尽力によって、私達がこうして様々な経験をさせて頂いたことを本当に感謝しています。お世話になり、有り難うございました。

### ★溝邊睦

自分で植えたお米でできたお餅はふわふわで美味しかったです。みんなとお餅つきやお話が楽しかったです。

### ★溝邊義人

お餅を丸めるのが楽しかったです。お餅はとてもおいしかったです。今までありがとうございました。

### ★溝邊寛人

7年間楽しい思い出をたくさんありがとうございました。最後に参加できてよかったです。

### ★溝邊恵(母)

7年間、つくる会の皆様のご尽力のおかげで貴重な育児の時期に沢山の経験をさせて頂いたことに感謝の気持ちしかありません。私たちが活動させていただいている裏で維持管理活動、話し合いや準備、片付けなどたくさんの活動をしてくださり楽しく活動ができ

ました。二俣瀬親子自然観察隊、そしてつくる会の皆様に出会えて本当に良かったです。お餅もとても美味しくいただいております。ありがとうございました。

★湯浅（母）

子どもたちは「外は寒かったけど、お餅はあったかかったあー」「家で食べるお餅よりめちゃくちゃおいしかったー」とのことでした。家族で様々なことを経験し、とても良い時間を過ごすことができました。ありがとうございました。準備等して頂いたスタッフの皆様に感謝です。本当にありがとうございました。

★渡邊 潤

寒かったけど頑張れたし、お餅も美味しくて楽しかった。

★丸本（母）

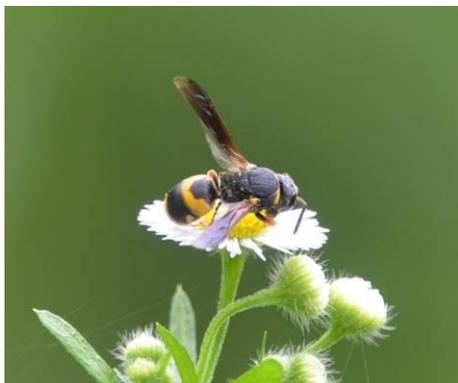
子供たちの感想です。もちもちで熱くてサイコーでした。こんなに沢山のおもちを作ったの初めてでした。お餅をつく機械、初めて見ました！

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 （管 哲郎 記）

(94) カバオビドロバチ *Euodynerus dantici* スズメバチ上科ドロバチ亜科

国内では本州、九州、淡路島で確認されています。奄美群島や八重山諸島にはミナミカバオビドロバチがいます。黒い体色に黄色の斑紋があり、美しく目立つハチです。

体長はメス 13.5～15 ミリ、オス 8.5～12 ミリのやや中型のハチです。狩人バチですが花に来て吸蜜する姿をよく見ます。生態などはまだよくわかっていないようです。筆者もほかのドロバチより見かけることが少ないので、あえてここに掲載しました。



雑草の花で吸蜜するカバオビドロバチ



花壇の花で吸蜜するカバオビドロバチ

## 7. 会よりの連絡事項

- 1) 会報は来年の1月で270号になり、これで終了とします。そこでこれまでの活動や行事で何か述べたいという方は、メールまたは文書で頂ければ、最終号の会員の声として記載したいと思いますので、多くの方の寄稿をお願い致します。
- 2) 来年4月頃に解散式(今年度の活動・会計報告など)を予定しています。

## 8. 編集後記 (前田 歳朗 記)

今月の9日、10日ぶりにビオトープを訪れました。今年の秋は雨が少なく、ビオトープでは度々水枯れが発生しています。当日、川からの取水は良好でした。しかし、落葉で水路が塞がれ東屋横でオーバーフローしており、このためビオトープ内には水が入っていませんでした。維持活動日の水路清掃と共に、数日おきの点検も必要です。

私はこれまで、エコアップを含めた維持活動の必要性を“編集後記”の場を借りて述べてきました。しかし、維持活動は人気がありません。昨年度の1回当たりの平均参加人数は12名にすぎず、稲作体験の平均参加人数24名の半数にすぎません。今年度は、さらに差が大きくなると思います。どうしたら、会員が維持活動に参加してくれるのでしょうか。

私からの提案ですが、参加せずとも興味を持ってください。活動日に都合がつかなくとも、気の向いた時にビオトープを訪れましょう。その時々水路、観察路の状態、植物の生育状況を把握できます。見知らぬ植物の名前を調べるのも良いでしょう。資格へのチャレンジも一案です。私は、入会直後に“ビオトープ管理士2級”を取得しましたが、受験勉強をする過程で、維持活動の重要性を学びました。

来年度からは具体的な内容は分かりませんが、別組織での活動となります。今まで以上に生態系保全を重視した活動内容となることを望みます。参加する会員がビオトープに興味を持ち、その結果、維持活動が活発になれば幸いです。何も無いようなビオトープですが、努力次第ではお花畑にすることが出来ます。